

世界の行政官が、汚水処理ノウハウを学びに 田川市、八女市を訪問します。

国際協力機構(JICA)では、開発途上国の開発課題の解決に貢献するため、世界中の開発途上国から行政官を招へいし、研修を実施しています。

8月23日(水)から9月14日(木)まで、開発途上国の水環境改善のため、10か国11名の行政官を招へいし、研修コース「分散型汚水処理システム導入・普及」を実施します。本研修では、福岡県内の地方自治体が実施する汚水処理の方法や技術等を学び、日本の技術を用いた汚水処理施設等の現場を視察します。取材いただける場合は、各取材対象日の前営業日までに問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

■研修参加者概要

ブラジル、カンボジア、インド、インドネシア、ケニア、ネパール、パプアニューギニア、フィリピン、スリランカ、ベトナム 計11名(フィリピンのみ2名、その他1名ずつ)

■取材対象日程

- 9月7日(木)10:00~12:00
講義「浄化槽の導入・普及に向けた自治体の役割」
講師:田川市市民生活部環境政策課 汚水処理対策室
場所:田川市役所(田川市中央町1-1)
- 9月7日(木)13:45~14:45
視察「大型浄化槽1」
場所:三井伊田団地汚水処理場(田川市大字伊田2738番地1)
- 9月7日(木)15:00~16:00
視察「大型浄化槽2」
場所:松原団地第2汚水処理場(田川市大字伊田4924番地)
- 9月11日(月)14:30~16:00
講義及び視察「汚泥処理及び汚泥の有効利用」
講師:八女中部衛生施設事務組合
場所:八女中部衛生施設事務組合汚泥再生処理センター(八女市市本町647番地)

※ 研修全体日程、研修員リストは、取材希望者に配布いたします。

※ 現場の状況により、取材時間や取材可能人数等に変更・制限が出る場合があります。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州 研修業務課 (担当 三浦、西嶋)
TEL 093-671-8360 FAX 093-671-0979